

令和5年度 四日市市BPRによる業務分析・改善等支援業務委託 公募型プロポーザル審査結果について

人口減少に伴い、職員などの行政資源に限られる中であっても、市民ニーズに沿った持続可能な行政サービスを提供するためには、業務の効率化・省力化、抜本的な見直しなどの改善が不可欠です。

本業務は、BPRの手法を活用して、現状・課題の分析、実効性のある業務改善に取り組み、市民サービスの質の向上とともに、政策立案など、より注力すべき業務体制の強化を目的としています。

具体的には、市が実施する業務について、業務量やプロセス等を可視化して、業務の問題点・課題を分析し、業務プロセスの見直しや業務の定型化・標準化など、BPRの手法を活用した業務改善の支援を行い、また、本業務以降も継続して、職員自らBPRを活用した業務改善に取り組むことができるよう、BPRに関するノウハウの啓発・共有を行う業務を委託する候補者を選定するため、公募型プロポーザルを実施しました。

その結果、下記のとおり、受託候補者及び次点候補者を選定しましたので公表します。

記

1 審査結果

受託候補者： 株式会社ガバメイツ

次点候補者： エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社東海支社

2 審査委員会 委員名簿（順不同・敬称略）

委員長	青木 雅生	三重大学	リカレント教育センター	教授
委員	棚橋 不二男	四日市市	財政経営部	次長兼市民税課長
委員	一川 香世子	四日市市	財政経営部	行財政改革課長
委員	内糸 豊	四日市市	環境部	環境政策課長
委員	中山 憲治	四日市市	環境部	生活環境課長

3 審査日時

書類・ヒアリング審査：令和5年6月2日 12時50分～16時10分（出席委員5名）

4 審査経緯

- (1) 令和5年4月21日に実施要領等を公表するとともに公募を行いました。
- (2) 同年5月8日までの参加申込書類提出期間に、3者から参加申込書類を受理しました。
- (3) 参加申出者の参加資格要件について確認した結果、3者とも要件を満たしていたため、5月23日までの企画提案書類等提出期間に、3者から企画提案書類を受理しました。

※企画提案書類提出者（提出順）

- ・ 株式会社ビーコンラーニングサービス
 - ・ 株式会社ガバメイツ
 - ・ エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社東海支社
- (4) 書類・ヒアリング審査として、3者の参加申込書類及び企画提案書類等について、書類審査、匿名での20分以内のプレゼンテーションと25分以内の質疑応答によるヒアリング審査を実施し、得点評価を行いました。
 - (5) 審査による得点の集計を行った結果、審査の得点を合計した総合得点が最も高かった「株式会社ガバメイツ」を本件業務委託の受託候補者、次に総合得点が高かった「エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社東海支社」を次点候補者とするについて、審査委員会において確認を行い、各候補者の選定に至りました。

5 審査基準

本件プロポーザルの審査にあたっては、審査委員会が別に定めた「令和5年度 四日市市 BPRによる業務分析・改善等支援業務委託 公募型プロポーザル評価項目、評価基準及び配点」に従って、厳正な審査を実施しました。

本審査基準については、次のとおり公表します。

**令和5年度 四日市市BPRによる業務分析・改善等支援業務委託
公募型プロポーザル評価項目、評価基準及び配点**

(書類・ヒアリング審査)

評価項目			評価基準	配点		様式
大項目	中項目	小項目		評価点	合計 (配点率)	
参加書類申込	業務実績	業務実績	同種業務実績の内容、件数等を評価する	10	10 【5%】	様式2
企画提案書類についての評価	業務体制等	業務内容に係る企画提案	業務への理解度、実施方針の妥当性について評価する	20	35 【17.5%】	様式4
			業務の実施体制について評価する	10		様式5
			業務実施工程について評価する	5		任意様式
	配置予定者の経験及び能力等	管理責任者	業務実績の内容、件数等を評価する	5	10 【5%】	様式6
			業務の繁忙度(手持ち業務の件数、内容等)を評価する	5		
		主任担当者	業務実績の内容、件数等を評価する	5	10 【5%】	様式7
			業務の繁忙度(手持ち業務の件数、内容等)を評価する	5		
	経験・ノウハウ	特定テーマ①	提案における的確性、独創性・創造性、実現性について評価する	50	100 【50%】	様式8 様式9
		特定テーマ②		50		
	金額	見積価格	提案内容に対する経費の妥当性を評価する	5	5 【2.5%】	様式10
ヒアリングの評価	ヒアリング	提案説明 質疑応答	提案説明・質疑応答を通じた本業務に対する取組姿勢及びコミュニケーション能力について評価する	15	30 【15%】	—
		提案説明 質疑応答	提案説明・質疑応答を通じた専門知識及び応答における的確性を評価する	15		
合計				200	200 【100%】	

(注)・評価結果の得点については、小項目ごとにおける各審査委員の平均点とし、小数点第1位を四捨五入する。
 ・なお、各審査における評価結果の合計得点が同点の場合は、以下の順序に従い、その点数が高い事業者を選定する。
 ①【特定テーマ①、②の合計】⇒②【業務内容に係る企画提案】⇒③【取組み姿勢、専門性・コミュニケーションの合計】
 ⇒④【管理技術者、主任技術者の合計】⇒⑤【業務実績】⇒⑥【見積価格】

6 選考理由

本プロポーザルの審査は、学識者及び本市職員の合計5名で構成された「令和5年度四日市市BPRによる業務分析・改善等支援業務委託プロポーザル審査委員会」において厳正かつ公正に実施しました。

企画提案においては、業務の実施方針及び業務の実施体制などに加え、以下に示す2つの特定テーマについて提案を求めました。

【特定テーマ】

- ① 業務可視化、業務量分析に関する提案
- ② BPRの実施に関する提案

企画提案については、事前に公開した仕様書、各特定テーマの意図などを踏まえたうえで、各者が有する専門的知見やこれまでの業務実績により培ったノウハウ等が盛り込まれた提案でした。

提案のあった三者において、選定した受託候補者「株式会社ガバメイツ」及び次点候補者「エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社東海支社」については、BPRに関する考え方を職員に浸透させたり、意識を醸成することにとどまることなく、業務を分析して課題を抽出し、現場の職員と協議しながら業務を改善するという点について、これまでの実績やノウハウに基づく実行性が推察できる提案であったことから、その提案能力に対して高い評価としました。

その中で、とりわけ、受託候補者については、BPRという組織で取り組むには労力を要するテーマにおいて、現場の職員に対して、これまでの調査データ、改善事例などを提示することで、一人一人の職員がBPRに取り組みやすい環境を用意できる、という点が、他の提案に比べて優れていました。

提案に対する実現性などについては、課題が見える部分があったものの、ヒアリングにおいて、実際の業務や職務の実態に即した補足説明や、質疑に対する明確な応答については、受託候補者の方がより優れていました。

これらに加えて、他の評価項目も含めた総合的な評価に基づき、「株式会社ガバメイツ」を受託候補者として選定しました。

なお、当審査委員会としましては、本業務委託に対して、単なる事務、作業の改善にとどまることなく、業務の目的や必要性に立ち返り、最適な業務プロセス・体制の構築を実施し、ひいては、四日市市役所内の多種多様な業務の在り方、運用、あるいは事務ルールの見直しにつながるような意識で臨んでいただくことを、期待を込めて要望いたします。

7 最後に

このたびの審査においては、各審査委員が、それぞれの専門分野における経験と知見から審査を行い、その結果、当業務を実施するにふさわしい候補者を選定することができました。

本業務により、四日市市役所のBPRによる業務分析・改善が進み、市民サービスの向上につながることを心より祈念します。

最後に、本プロポーザルに対して真摯に取り組まれ、貴重な時間、労力を費やし御参加いただいた提案者の皆様に敬意を表すとともに、審査にご尽力いただいた審査委員並びに関係者の皆様に、この場をお借りして厚く御礼申し上げ、審査講評といたします。

令和5年 6月14日

令和5年度 四日市市BPRによる業務分析・改善等支援業務委託プロポーザル審査委員会

委員長 青木 雅生